

こころの便り

第210号

平成29年9月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六八一十二
株式会社 新宮運送グループ
代表/木南 一志
kminami@shingu.co.jp
電話 079-1-75-1212

できる人に

西日本では熱く厳しい夏となりましたが、東日本では雨ばかりだったようです。季節の変わり目に発生するはずの雷も局地的に大雨と落雷で当地でも山火事になったりしました。科学がどこまで進んでも、大自然を相手に人間が自由に操ることなどできません。そのうち出来るようになるはずと考えている人もあるでしょうが、まさか太陽を西から昇らせることなど決してできませんし、宇宙を生み出した根源に対しての冒瀆になると思います。

人間にもできることとできないことがある現実を見極めなくてはなりません。考えられないような形で進化を続けてきましたから、何でもできると勘違いしがちです。しかし、ほんの二十年ほど前でも、世の中がここまで進化して地図が要らなくなったたり、話せばスマホが答えてくれたり、分厚い百科事典が要らなくなるなど想像もできなかったことでもあります。それでも、人間は空気がないと生きていくことができませんし、水がなくても大丈夫という生活は考えられません。天気予報ひとつ、確実に言い当てることもできないのですから、まだまだ大自然の大きさには脱帽して、感謝するしかありません。

仕事はできる人によってきます。できない人にもお願いしても、レベルや品質、期限などを満たしてはくれないからです。では、できる人はできない人の倍の給料をもらっているかというところでもありません。不公平ではないかという声も聞こえてきそうですが、仕事はできる人のもとへ集まってくるのです。周りと比較しながら不満を持ちな

がら公平にしてもらいたいといくら叫んでも、実現することは難しいでしょう。

なぜかというところ、できる人には信頼が生まれ、頼りにするファンが増えていくからです。できない人にはそれがありませんから、誰も頼りにはしません。人間社会の進化は、不公平な中でもできる人が新しい開発をして、時代を変えてきました。できる人には、何か共通するところがあるように思えます。同じように、できない人にも共通することがあります。そう考えていくと、自分はどちらに属するかが何となく見えるのではないのでしょうか。

できない人になって会社の中でぶら下がるような仕事で日々を過ごすのと、仕事の出来不出来はどうあれ、周りの人と一緒ににこやかに笑いながら助け合えるのとどちらがいいかはハッキリしていません。できる人になると、任されることが増えてきます。しんどいこと、疲れることも増えてくるのかもしれない。しかし、それを曲がりなりにもやり終えたとき、仲間が喜んでくれたら、お客様がありがとうと言ってくれたら、やって良かったと思えるはずですよ。

厳しく辛いかもしれないですが、できる人を目指しませんか。笑顔ができる、返事ができるだけでもいいではありませんか。実践家となって、いい仲間を増やしていきたいでしょう。暑さもまだ続きます。夏の疲れで体調不良にならないよう、睡眠時間をしっかりと取りましょう。間もなく涼しい季節がやってきてくれます。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝

NPO法人 愛ランド様の協力で障書を持つ方々の力で、皆様にお届けさせていただいております。

尋常小學校修身書 卷五 兒童用

第二課 皇太后陛下

皇太后陛下は御幼少の頃から御しつそにあらせられ、御服装などもぜいたくなものは決してお用ひにならず、學校にはたいいてい御徒歩でお通ひになりました。又大そうおいつくしみ深くあらせられ、人々をおおはれみになりました。

皇后におなりあそばしてからは、我が國の産業に御心をお用ひになり、宮中で御みづから蠶をおかひになり、博覽會や共進會などにも、たび々行啓になりました。又諸種の學校に行啓になつて、教育が進歩するやうにおおげましになりました。

陛下は博愛慈善の事業に深く御心をお用ひになり、日本赤十字社總會には毎回行啓あらせられて、赤十字社事業が發達するやうにおのぞみになりました。『大正十二年九月關東地方に大地震があつた時、陛下は日光の御用邸に御滞在中でございまして、罹災者の身の上を大そう御心配あそばされ、間もなく東京に還啓あらせられ、三日にわたつて、市内の病院や救護所などを御見舞になつて、罹災者をあつくお慰めになりました。



御歌

おほとのをたたく霰の音にしも
かりやのよるの寒さをぞおもふ